

血管外科研修プログラム

I 一般目標 (GIO)

プライマリーケアを実践するために、血管外科の基礎的な知識と技術を習得し、医療人として必要な人格、態度を身につける。

II 行動目標 (SBO)

- * 適切な問診をおこない、全身の診察を系統的に実施できるようになる。
- * 適切な医学用語を用いた診療録が記載できる。
- * 身体所見、検査結果にもとづいて、必要な諸検査を計画し疾患の病態評価を行なえる。
- * 主要な疾患の診断法、治療法を理解し患者にとって最適な治療法を選択できる。
- * 治療に必要な基本的な知識（清潔、輸液療法、抗生物質など）技術（気道確保、血管確保、消毒、手洗い、皮膚切開、止血、縫合、結紮）を習得する。
- * 血管外科的救急患者に対する基本的な検査、処置を習得する。
- * 患者、家族が納得できるインフォームド、コンセントを理解する。
- * 守秘義務を果たしプライバシーへの配慮ができる。
- * 看護師、コメディカルとの円滑なコミュニケーションがとれる。
- * 脈管の解剖を理解し、診療に応用できる。

III 方略 (LS)

- * 入院患者を指導医とともに受け持ち、問診、診察をおこない所見を診療録に記載する。
- * 診断、治療のために必要な検査の組み立てを行う。
- * 一般撮影、CT、MRI、血管造影の所見を読影する。
- * 静脈確保を習得する。
- * 指導医とともに回診を行い患者の状態を把握する。
- * 指導医とともに下肢静脈瘤の手術を行う、他の手術では皮膚の縫合をおこなう。
- * 指導医の行うインフォームド、コンセントに立ち会う。
- * 救急患者の診療に参加する。
- * カンファレンスに出席し受け持ち患者のプレゼンテーションをおこなう。
- * 指導医に指示された患者の症例報告をおこなう。